病院名	盛岡赤十字病院
研修プログラム名	整形外科

研修目標と実施計画

【研修目的】

日常生活動作における愁訴は運動器疾患が原因であることが多い。このような運動器疾患を扱う整形外科は、骨折、捻挫、脱臼、腱・靭帯損傷、神経損傷などの急性期疾患、加齢に伴う四肢関節変性疾患、スポーツ障害、脊椎・脊髄疾患など実に多くの疾患を対象としています。初期研修では入院患者を中心に指導医とともに診療に携わり、整形外科の基本手技を学んでいただくことを目的にしています。

【研修目標】

1、　運動器外傷・急性疾患の基本的診療能力を習得する。
2、　変形性関節症などの運動器慢性疾患の重要性について理解・習得する。
3、　運動器傷病の診断と治療を行う為にその基本的手技を習得する。

【行動目標】

1、　急性疾患
① 骨折、捻挫、脱臼、腱・靭帯損傷、神経損傷などの症状・所見を診ることができる。
② 各疾患の画像（X線、CT、MRIなど）を解釈できる。
③ 各疾患の治療方針を立て指導医のもとで簡易的な治療（脱臼整復、シーネ・ギプス固定など）ができる。
④ 多発外傷における優先検査順位を判断できる。
2、　慢性疾患
①変性疾患の病態を説明できる。
②各疾患の画像（X線、CT、MRIなど）を解釈できる。
③各疾患の鑑別診断、治療方針を立てることができる。
④関節穿刺注入、脊髄造影を指導医のもとで行うことができる。

【研修内容】

1、　研修医は午前中に指導医とともに回診し入院患者の状態について把握する。
2、　手術に入り手術方法、手技について学ぶ。指導医のもとで創縫合の手技を習得し、可能な限り閉創を行う。
3、　症例（大腿骨転子部骨折、抜釘など）によっては指導医のもとで術者として執刀する。
4、　外来においては問診、画像・採血などの適切な検査のオーダーができ、治療方針を立て指導医と検討する。

【週間予定表】

	月	火	水	木	金
午前	回診・手術	回診・手術	回診・検査・手術	外来・手術	回診・手術
午後	手術	検査・手術	手術	手術	検査・手術

急患については指導医とともにその治療に当たること。